

## 9 財務

### 1 はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、第二期目の決算を迎え財務諸表を作成しました。

公立大学法人の財務諸表は、企業会計原則を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、本法人の財政状態や運営状況を示したものです。

### 2 貸借対照表

貸借対照表は、平成25年3月31日現在の、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を表示したものです。

#### （資産の部）

資産の総額は、72億8千8百万円です。

うち、土地・建物等の固定資産が65億8千5百万円で資産全体の90.4%を占めています。また、高知県から出資または継承により取得した財産は、64億6千6百万円で総資産の88.7%となっています。

#### （負債の部）

負債の総額は、9億8千9百万円です。

うち、固定負債が7億1千9百万円で、負債全体の72.4%を占めますが、固定負債の99.5%は公立大学法人特有の会計処理による資産見返負債となっています。

資産見返負債は、特定の財源で償却資産を取得した場合に、減価償却処理による損益への影響を排除することを目的とし負債に計上するもので、支払義務のない会計上の負債です。

流動負債2億7千万円のうち、主なものは、未払金2億2千3百万円で、そのうち退職金等の人件費が8千3百万円となっています。

#### （純資産の部）

純資産の総額は、62億9千8百万円です。

うち、資本金（高知県からの出資金）が61億6千7百万円、資本剰余金が△2億3千8百万円、利益剰余金が4億3千3百万円となっています。

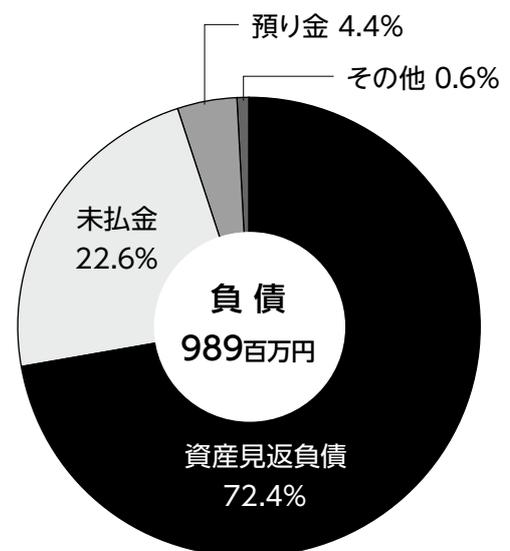
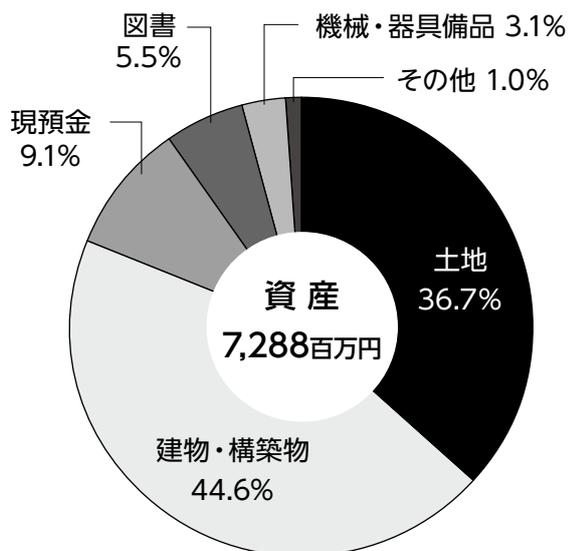
資本剰余金は、高知県から継承した未償却資産6百万円と、出資された建物の損益外減価償却累計額3億3千万円及び損益外減損損失累計額5百万との差額となります。

## 貸借対照表の概要

(単位:百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,674	負債の部	固定資産	資産見返負債	716
			建物	3,193			長期リース債務	3
			構築物	56			小計	719
			機械装置	51		流動負債	未払金	223
			工具器具備品	176			前受金等	1
			図書	398			預り金	43
			車両運搬具	0			その他	1
			美術品・収蔵品	6			小計	270
			小計	6,558		合計③	989	
	無形固定資産	26	純資産の部	資本金	6,167			
	投資その他の資産	1		資本剰余金	△ 301			
	合計①	6,585		利益剰余金	433			
	現金及び預金	663		合計④	6,298			
	流動資産	その他の流動資産	36					
合計②		700						
資産合計①+②		7,288	負債純資産合計③+④			7,288		

※百万円未満切り捨て



### 3 損益計算書

損益計算書は、当期（平成24年4月1日から平成25年3月31日）に発生した法人のすべての費用とそれに対応する収益、並びに収益から費用を差引いた利益を表示し、法人の運営状況や収益構造を表示したものです。

#### （経常費用）

経常費用の総額は、23億7千2百万円です。

うち、業務費が22億2千1百万円、一般管理費が1億5千万円です。

業務費の内訳は、教育経費が3億3千3百万円、研究経費が1億5千7百万円、教育研究支援経費が4千6百万円、人件費が16億7千2百万円となっています。なお、人件費が経常費用に占める割合は、70.5%となっています。

#### （経常収益）

経常収益の総額は、26億6百万円です。

うち、高知県から交付を受けた運営費交付金の収益が15億1千3百万円、授業料・入学金・検定料等の収益が8億2百万円、受託研究・事業等の外部資金による収益が8千7百万円、資産見返負債戻入が8千3百万円、施設使用料や科学研究費補助金の間接経費等の雑益が1億2千万円となっています。

資産見返負債戻入は、公立大学法人特有の会計処理によるもので、減価償却処理による費用発生の都度、資産見返負債を取崩して収益化する際に発生する会計上の収益です。

#### （経常利益）

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、2億3千4百万円です。

#### （臨時損益）

臨時利益は、3百万円です。

これは、永国寺キャンパスでの火災による受取保険金です。

#### （当期総利益）

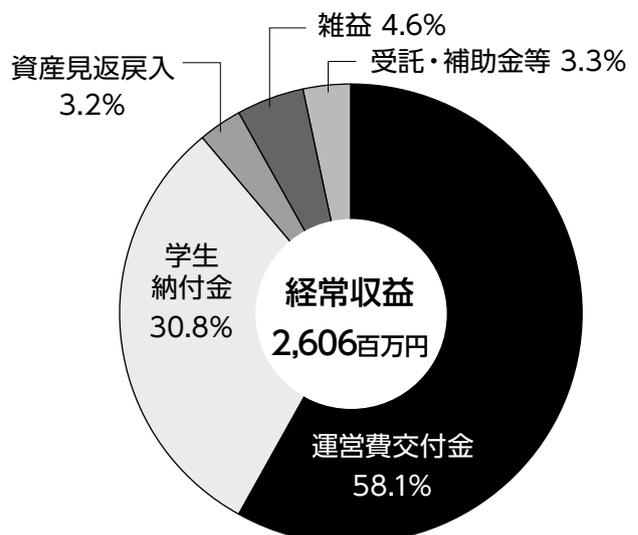
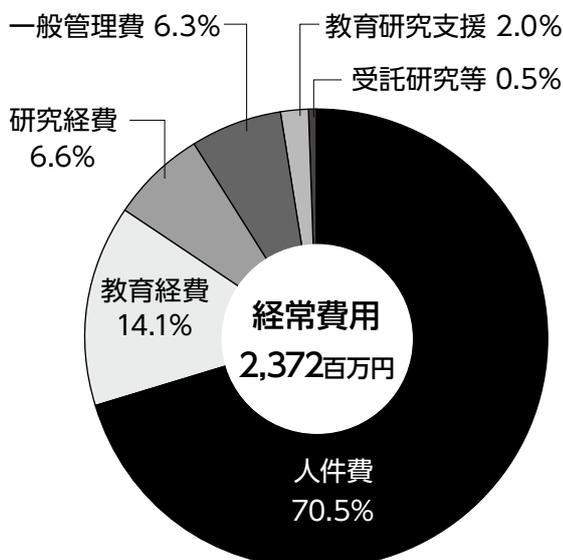
経常利益に、臨時利益を加算した平成24年度の当期総利益は、2億3千8百万となりました。これは貸借対照表の利益剰余金と一致しています。

## 損益計算書の概要

(単位:百万円)

経 常 費 用	業 務 費	教員経費	333	経 常 収 益	運営費交付金収益	1,513
		研究経費	157		授業料収益	700
		教育研究支援経費	46		入学料収益	77
		受託研究費等	4		検定料収益	26
		受託事業費	7		受託研究等収益	4
		役員人件費	19		受託事業等収益	7
		教員人件費	1,281		寄附金収益	1
		職員人件費	371		補助金等収益	74
		合 計	2,221		資産見返負債戻入	83
	一般管理費	150	その他		121	
合 計 ①	2,372	合 計 ⑦	2,606			
経常利益 ② (⑦-①)			234			
臨 時 損 失	その他臨時損失			臨 時 利 益	受取保険金	4
	合 計 ③				物品受贈益等	
					合 計⑧	4
臨時利益-臨時損失 ④ (⑧-③)			3			
費用合計 ⑤ (①+③)			2,372	収益合計 ⑨ (⑦+⑧)		2,610
当期総利益 ⑥ (⑨-⑤)			238			

※百万円未満切り捨て



## 4 その他の主要諸表

### ① キャッシュ・フロー計算書

通常の事業活動により生じた資金の流れを示す業務活動によるキャッシュ・フローの収支差額2億9千7百万円から、投資活動によるキャッシュ・フローで表示される設備投資等により生じた支出合計7千9百万円を減算すると、当期の資金増加額は2億1千8百万円となり、前期繰越額と併せた期末残高は6億6千3百万円となります。

#### キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	297
	原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 418
	人件費支出	△ 1,747
	その他支出	△ 138
	運営費交付金収入	1,561
	学生納付金収入	777
	受託・補助金・寄附金収入	120
	その他収入	140
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 79
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	資金増加額	217
V	資金期首残高	445
VI	資金期末残高	663

※百万円未満切り捨て

### ② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにしたものです。

#### 利益の処分に関する書類（案）の概要

(単位:百万円)

I	当期末処分利益	238
	当期総利益	238
II	利益処分数額	238
	積立金	0
	目的積立金	238

※百万円未満切り捨て

### ③ 行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、公立大学法人の運営上のコストのうち、県（住民）が負担している全コストを明らかにしたものです。

#### 行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務費用	1,530
	(1) 損益計算書上の費用	2,372
	(2) 自己収入等	△ 841
II	損益外減価償却相当額	142
III	損益外減損損失相当額	5
IV	引当外賞与増加見積額	△ 2
V	引当外退職給付増加見積額	△ 10
VI	機会費用	170
VII	行政サービス実施コスト	1,837

※百万円未満切り捨て

## 5 外部資金導入の状況

## (1) 科学研究費助成事業交付状況

## 【科学研究費助成事業交付実績】

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H23		H24		H25～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
基盤研究A	看護	研究代表者	教授	野嶋佑由美	研究-実践の連携による家族に対する看護エンパワーメント介入の評価研究	継続	H22～24 H25繰越	12,360	5,100	6,800	2,520	6,100	25,400	5,100	
基盤研究A 小計								12,360	5,100	6,800	2,520	6,100	25,400	5,100	
基盤研究B	看護	研究代表者	教授	山田 寛	大規模自然災害に備えた地方大学による地域住民支援システムの構築	新規	H24～28			3,856	1,320	5,944	1,320	5,944	
		研究代表者	教授	中野 綾美	脳死による子どもの臓器移植に直面した家族の意志決定を支えるケアガイドラインの開発	継続	H23～25	4,500	1,350	4,500	1,350	4,500	9,200	1,680	
	文化	研究代表者	准教授	高西 成介	海城交流をキーワードとした中国通俗文芸の学術的研究	新規	H23～25	10,100	3,030	10,056	3,180	10,444	9,000	1,350	
基盤研究B 小計								8,200	2,460	10,192	3,060	8,100	26,492	5,520	
基盤研究C	看護	研究代表者	助教	岩崎 順子	Maternal Confidenceを育成する看護介入プログラムの開発	新規	H24～26			600	390	2,700	3,300	390	
		研究代表者	准教授	嶋岡 暢希	乳児期の子どもの育てる母親のMastery獲得のプロセスと介入方法の開発	新規	H24～26			539	600	3,561	4,100	600	
		研究代表者	教授	池添 志乃	発達障害の子と家族を支える養護教諭の共同支援プログラムの開発	継続	H23～25	1,500	600	1,300	240	1,200	4,000	840	
		研究代表者	教授	時長 美希	アウトリーチ活動を基盤とした地区活動モデルの構築	継続	H23～25	1,300	390	97	390	2,203	3,600	780	
		研究代表者	教授	松本 鈴子	女性の出産に伴うトラウマ後の成長過程と看護者のケア提供モデルの構築	継続	H23～25	300	450	360	390	3,340	4,000	840	
		研究代表者	教授	森下 利子	治療期にあるがん患者へのホリスティックアプローチを基盤とするケアモデルの開発	継続	H23～25	700	210	278	210	1,122	2,100	420	
		研究代表者	教授	森下 安子	地域を基盤とした「地域病院協働型在宅移行支援システム」の開発とガイドラインの作成	継続	H23～25	1,800	540	900	270	1,300	4,000	810	
		研究代表者	講師	瓜生 浩子	高次脳機能障害者の家族のFamily Hardiness支援教育マニュアルの開発	継続	H23～25	1,800	540	1,114	360	1,086	4,000	900	
		研究代表者	助教	坂本 綾	スタッフ育成における病棟看護師長の役割遂行を促進する教育プログラムの開発	継続	H23～25	900	270	650	360	1,350	2,900	630	
	研究代表者	教授	畦地 博子	精神科看護におけるアカウンタビリティ向上のための教育プログラムの作成	継続	H22～24	1,865	630	1,053	360		2,918	990		
	研究代表者	教授	長戸 和子	患者家族と看護師のパートナーシップ形成のためのガイドラインの開発	継続	H22～24	2,471	750	831	300		3,302	1,050		
	研究代表者	准教授	田井 雅子	外来看護師による統合失調症を持つ人に対するセルフマネジメントのケアモデル作成	継続	H22～24	1,500	450	695	210		2,195	660		
	研究代表者			田中きよむ	限界集落の地域的孤立化を基盤とする要援護者の孤立化問題と生活支援	新規	H24～26			1,353	420	2,547	3,900	420	
	研究代表者	教授	杉原 俊二	うつ経験者の回復期支援法-自分史分析(4テーマ分析法)を用いた支援の効果	継続	H22～24	900	270	200	60		1,100	330		
	研究代表者	准教授	三浦 要一	明治前期の徴発物件資料にみる民家の基礎的研究	新規	H24～26			700	240	1,400	2,100	240		
研究代表者	講師	吉川 孝	現象学的倫理学としてのミュンヘン・ゲッティンゲン学派の研究	継続	H23～25	1,000	300	872	300	1,028	2,900	600			
研究代表者	教授	萩沼 一男	染色体の形態や核型が大きく異なるハマボウスのゲノム再編はどのようにしておきたのか	新規	H24～26			1,500	450	2,700	4,200	450			
研究代表者	教授	清原 泰治	1950～1970年代の高知県における市町村民運動会の社会的機能に関する研究	新規	H24～26			600	180	1,200	1,800	180			
基盤研究C 小計								16,036	5,400	13,642	5,730	26,737	56,415	11,130	
挑戦的萌芽研究	健康栄養	研究代表者	教授	渡邊 浩幸	高風味・高栄養価の野菜類を非常・災害食として利用するための野菜類の保存技術の確立	新規	H24～26			830	360	2,170	3,000	360	
	看護	研究代表者	教授	竹崎久美子	高齢患者の在宅退院時におけるIADL支援と在宅移行促進のための看護援助	継続	H23～25	500	150	200	150	700	1,400	300	
	社会福祉	研究代表者	教授	宮上多加子	難聴者を対象とした介護福祉士養成教育における成人学生の学びの構造	継続	H23～24	600	180	500	150		1,100	330	
挑戦的萌芽研究 小計								1,100	330	1,530	660	2,870	5,500	990	
研究活動スタート支援	看護	研究代表者	講師	廣川 恵子	通院しながら生活するがん患者の「調整力」尺度の開発	新規	H24～25			900	270	700	1,600	270	
		研究代表者	助教	川本 美香	効果的な特定保健指導を実現する関係形成のためのガイドラインの開発	新規	H24～25			800	240	600	1,400	240	
		研究代表者	教授	藤田 冬子	介護者のエンハンスメントプログラムにおけるファシリテーター養成プログラムの開発	継続	H23～24	1,300	390	1,200	360		2,500	750	
		研究代表者	准教授	内川 洋子	看護におけるチームワーク・コンピテンシー-中堅看護師に焦点をあてて-	継続	H23～24	1,200	360	600	180		1,800	540	
		研究代表者	助教	石井 歩	女性若年がんサバイバーのボディイメージ変調への看護介入方法の開発	継続	H23～24	799	240	229	90		1,028	330	
		研究代表者	助教	嶋山 卓也	精神科保護室の看護ケアに関する教育支援ガイドラインの作成	継続	H23～24	1,300	390	883	270		2,183	660	
研究活動スタート支援 小計								4,599	1,380	4,612	1,410	1,300	10,511	2,790	
若手B	看護	研究代表者	講師	升田 茂章	前立腺全摘出術後患者と家族への排尿障害とセクシュアリティの看護ガイドラインの開発	新規	H24～26			1,246	390	1,954	3,200	390	
		研究代表者	助教	潮 由美子	在宅移行期のシームレスケアに向けた病棟看護師と訪問看護師の協働のガイドライン	新規	H24～26			500	150	700	1,200	150	
		研究代表者	助教	横本 香	精神看護者の心理的距離に関する臨床判断・看護行動の類型化及び新人教育ガイドライン	新規	H24～26			1,195	360	1,505	2,700	360	
		研究代表者	講師	石川 麻衣	行政保健師の健康増進計画推進活動モデルの開発	新規	H23～24	740	240	474	150		1,214	390	
		研究代表者	助教	井上 正隆	状況再現シミュレーションを用いたケアデザインの獲得を目的とした教育法の開発	新規	H23～25	1,700	510	995	300	505	3,200	810	
		研究代表者	助教	大坂 京子	BPSDを有する認知症高齢者の「つなごう感」の測定道具の開発と実践への活用	新規	H23～24	700	210	0	0		700	210	
		研究代表者	助教	小澤 若菜	地域全体へ生活習慣病予防の動機づけを波及する保健師活動プログラムの開発	新規	H23～24	700	210	898	270		1,598	480	
		研究代表者	助教	首藤ひとみ	「医療的ケアの必要な子どもの親になる」プロセスを支援する看護介入の開発	新規	H23～24	1,700	510	2,988	900		4,688	1,410	
		研究代表者	助教	高谷 恭子	慢性状態にある思春期の子どもと親が「ゆる軌跡」のあり様を説明できるモデルの構築	継続	H22～24	1,800	540	500	150		2,300	690	
	研究代表者	特任准教授	神原 咲子	グローバル化したアジアにおける糖尿病予防プログラムのためのモデル構築	継続	H22～24	2,100	630	797	240		2,897	870		
	研究代表者	助教	橋本 力	介護支援専門員によるインフォーマル・サポート活用の支援プロセスに関する研究	新規	H24～25			187	60	113	300	60		
	研究代表者	講師	福岡 隆康	サービスの質を規定するモデル構築に関する研究	新規	H23～24	500	150	500	150		1,000	300		
	研究代表者	講師	上白木悦子	判断能力を欠く在宅患者の終末期医療関係者の治療方針についての意識の分析	新規	H23～24	1,640	600	1,660	390		3,300	990		
	研究代表者	准教授	西内 章	限界集落をつなぐ保健・医療・福祉ネットワークのアクセス方法	継続	H22～24	620	180	100	30		720	210		
	研究代表者	講師	西梅 幸治	ストレングス視点に基づく知的障害のある人との協働アクセス方法の構築	継続	H22～24	1,900	570	700	210		2,600	780		
研究代表者	講師	鈴木 孝典	精神障害者グループホームにおける支援評価モデルの開発的研究	継続	H22～24	1,300	390	500	150		1,800	540			
研究代表者	准教授	山口 善成	注釈の意義に関する理論的・実践的研究	新規	H24～27			560	180	1,640	2,200	180			
研究代表者	講師	飯高 伸五	ミクロアジア地域社会の観点からみた太平洋戦争の記憶の動態に関する民族誌的研究	新規	H24～25			500	150	500	1,000	150			
若手研究B 小計								15,400	4,740	14,300	4,230	6,917	36,617	8,970	
合 計								59,595	19,980	50,940	17,730	54,368	164,903	37,710	

※ 平成24年度の実績報告があった研究について掲載し、職名は、実績報告の職名を記載

## 【平成24年度 科学研究費受託件数】

	研究種目名	状況	文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	生活科学部	計
新規件数	基盤研究（B）（一般）	応募数	0	3	0	0	0	3
		採択数	0	1	0	0	0	1
		採択率	—	33.3%	—	—	—	33.3%
	基盤研究（C）（一般）	応募数	7	9	3	1	5	25
		採択数	1	2	1	0	2	6
		採択率	14.3%	22.2%	33.3%	0.0%	40.0%	24.0%
	挑戦的萌芽研究	応募数	1	0	3	5	1	10
		採択数	0	0	0	1	0	1
		採択率	0.0%	—	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%
	若手研究（B）	応募数	4	6	5	4	0	19
		採択数	3	3	1	0	0	7
		採択率	75.0%	50.0%	20.0%	0.0%	—	36.8%
	研究成果公開促進費	応募数	1	0	0	0	0	1
		採択数	0	0	0	0	0	0
		採択率	0.0%	—	—	—	—	0.0%
研究活動スタート支援	応募数	0	5	0	0	0	5	
	採択数	0	2	0	0	0	2	
	採択率	—	40.0%	—	—	—	40.0%	
合計	応募数	12	23	11	10	6	63	
	採択数	4	8	2	1	2	17	
	採択率	33.3%	34.8%	18.2%	10.0%	33.3%	27.0%	
継続件数			2	25	8	0	0	35
合計件数			6	33	10	1	2	52

## (2) 【中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム】

### ●事業目的と平成24年度の活動

中国・四国がんプロ養成基盤プログラムは、中国・四国地方の全域にわたる大学院、がんセンター、がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高齢がん専門医療人養成の教育プログラムである。高度な専門知識に加え、チーム医療・リサーチマインドを身につけた全人的高齢がん専門医療人が多数輩出されることにより、中国・四国地域におけるがん治療の均てん化、標準化が実現され、各大学、地域における臨床研究や橋渡し研究の活性化を目指している。

岡山大学は主幹校として事務局を置き、事業全体の推進及び統括を行う。各大学（10大学）は専門性を活かし、各種WGの幹事校として他大学と連携してカリキュラムを編成し、実施する。

高知県立大学大学院は、がん高度実践看護師WGの幹事校として事業に取り組んでおり、他の4大学院と連携してインテシブコースⅡとして、がん患者の治療・療養・生活過程を支える高度な看護実践の展開をテーマとする講演会の開催などを行った。また、高知県立大学大学院では、38単位の高度実践看護師教育課程への移行を行い、カリキュラムを強化するとともに、チーム医療における高度実践看護師の役割開発を目指してセミナーや学習会を実施した。さらにインテシブコースⅠとして、平成24年度より在宅移行や在宅看取りに力を入れた教育コースを開講し、地域の看護職への教育活動を行った。各大学の名称と担当は次の通り。

- ・岡山大学(主幹校)・・・がん薬物療法、放射線治療、医学物理士
- ・愛媛大学・・・・・・・・・・がん薬物療法
- ・香川大学・・・・・・・・・・緩和療法
- ・川崎医科大学・・・・・・・・ファカルティ・ディベロプメント（FD）、がん治療生涯教育
- ・高知大学・・・・・・・・・・放射線治療、在宅がん医療
- ・高知県立大学・・・・・・・・がん高度実践看護師
- ・徳島大学・・・・・・・・・・がん専門薬剤師、がん専門栄養士
- ・徳島文理大学
- ・広島大学
- ・山口大学・・・・・・・・・・腫瘍外科、eラーニング

年度	担当教員			事業実施 期間	事業内容	交付金額 (千円)
	学 部	職 名	氏 名			
H24	看護学部	教 授	藤田 佐和	H24.4.1 } H25.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護インテシブコースⅠ(在宅がん看護)の実施(1月～3月の15日間、11名修了)</li> <li>・がん高度実践看護師WGインテシブコースⅡ(講演会)の実施(2回)</li> <li>・5大学院がん看護学合同セミナーの実施(2日間)</li> <li>・がん高度実践看護師(APN)セミナーの実施(7回)</li> <li>・チーム医療セミナーの実施(7回)</li> <li>・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(4回)</li> <li>・大学院の広報活動・カリキュラムの策定</li> </ul>	9,723
		教 授	森下 利子			
		教 授	池田 光徳			

### (3) 【博士課程教育リーディングプログラム：災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

#### ●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公立5大学が共同でプログラムに申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー（DNGL）養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

#### ●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院（プログラム責任大学）
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

#### ●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

#### ●交付金額

平成24年度 106,940千円

年度	プログラム担当教員				事業内容	
	役職	所属	職名	氏名		
H24	プログラム責任 大学長	学長	学長	南 裕 子	・「共同教育課程5大学学長会議」「DNGLプログラム管理運営会議」「専攻設置準備委員会」を立ち上げ運営し、共同災害看護学専攻の設置に向けての準備を実施 ・5大学横断プロジェクトの立ち上げ・研究教育開発に関する活動を実施 ・共同施設「災害看護グローバルリーダー養成プログラム管理センター」を設置 ・学際的実験環境の整備 ・学際的研究教育環境・産官学連携教育環境の準備 ・研究インターンやインターシップ受け入れ先の準備 ・シミュレーション教育環境の整備とコンテンツの開発 ・遠隔会議環境の整備とLearning Management System導入の準備 ・国際的な連携体制の構築と学際的な教育研究の共同事業立ち上げの準備 ・被災地大学との連携による教育内容の開発 ・キックオフセミナー・国際セミナーの実施 ・災害看護学の普及のため、公開講座及びセミナーの実施	
	プログラム責任者	副学長	副学長	野嶋佐由美		
	プログラム担当者	看護学 研究科		教授		山田 覚
				教授		中野 綾美
				教授		藤田 佐和
				教授		竹崎久美子
				教授		池田 光徳
				特任 准教授		神原 咲子
				健康生活学 研究科		教授
		教授	長澤紀美子			

プログラム公式 Web サイト <http://www.dngl.jp/>

## (4) 奨学寄附金受入状況 (※ 平成15年度から実施)

平成 15 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	-	学 長	青山 英康	4,500,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
3	社会福祉学 部	助教授	住友 雄資	590,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合 計		3件		5,590,000		

平成 16 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	-	学 長	青山 英康	17,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	-	学 長	青山 英康	1,000,000	高知女子大学教職員組合	高知女子大学における教育研究の奨励
3	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
4	生活科学部	教 授	佐藤 厚	300,000	有限会社 創友	ラットを用いた界面活性剤の皮膚炎症の実験
5	生活科学部	助 手	川口 順子	300,000	財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	高齢者の快適で安全な生活支援のための色彩の役割について
6	社会福祉学 部	助教授	住友 雄資	210,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合 計		6件		2,327,000		

平成 17 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 18 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 19 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 20 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	生活科学部	教 授	佐藤 厚	500,000	井上石灰工業(株)	トマトの含有する機能性 についての研究
合計		1件		500,000		

平成 21 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	生活科学部	教 授	佐藤 厚	240,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	高齢者の転倒防止に向 けた実態調査
2	生活科学部	教 授	川村 美笑 子	500,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	「深層水由来新素材ミネ ラルを活用した高齢者向 け摂食・嚥下食の開発」 に関する研究
3	生活科学部	准教授	清水 扶美	250,000	日本農産 (株)	食育及びヨード卵の機能 性の検討
合計		1件		990,000		

平成 22 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 23 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	健康栄養 学 部	教 授	渡邊 浩幸	1,500,000	株式会社ファンケル	PSGなどの食品因子の 生物活性測定とその技 術移管
合計		1件		1,500,000		

平成 24 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	看護学部	教 授	藤田 佐和	300,000	公益財団法人 日中医学協会	医学奨学生の研究に関 する費用の一部補填
2	看護学部	准教授	神原 咲子	300,000	財団法人福田記念医 療技術振興財団	ITの有効活用とバリアに なるもの
合計		2件		600,000		

## (5) 受託研究費受入状況

(単位:円)

H17	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成17年4月28日～ 平成18年3月24日
2	生活科学部	教授	佐藤 厚	2,518,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	高知県地域研究開発促進拠点支援事業 題目:高齢者転倒予防のための 機器開発及びその製品化	平成17年7月1日～ 平成18年2月28日
合計			2件	4,818,000			

(単位:円)

H18	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成18年5月23日～ 平成19年3月23日
2	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の臨床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
3	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	5,367,850	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成18年11月7日～ 平成19年3月12日
4	生活科学部	教授	佐藤 厚	1,900,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	呼吸にシンクロした胸郭周径の リアルタイム測定機器の開発	平成18年10月13日～ 平成19年3月30日
合計			4件	10,951,750			

(単位:円)

H19	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の臨床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
2	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	5,913,000 (うち間接 613,000円)	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成19年5月31日～ 平成20年3月10日
3	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	2,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「シーズ発掘試験」 題目:「非結球アブラナ科葉菜類(ブ チペール)の出荷規格外及び廃棄 部位の有効利用を目指した機能的 食品素材の開発」	平成19年7月13日～ 平成20年3月31日
4	生活科学部	教授	川村美笑子	1,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「研究成果実用化検 討(FS)」 題目:室戸海洋深層水由来新素材ミ ネラルの特性を活用した高齢者向け ソフト食の開発	平成19年12月10日～ 平成20年3月31日
合計			4件	10,296,900			

(単位:円)

H20	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	3,450,000	(株)ファンケル	題目:発芽米由来ASGの糖・脂 質代謝異常及び老化に伴う代謝 障害の改善効果の検討	平成20年6月26日～ 平成21年7月31日
2	生活科学部	教授	川村美笑子	2,000,000 (うち間接 200,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	クライアントの病状ステージに応じた 新しい血糖コントロール食品の開発	平成20年8月12日～ 平成21年3月31日
合計			2件	5,450,000			

(単位:円)

H21	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	川村美笑子	2,000,000 (うち間接 330,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	ストレスが惹起する疲労を予防 する食品の開発	平成21年7月27日～ 平成22年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	5,979,518	文部科学省高等教育局	看護系大学におけるモデル・コア・カ リキュラム導入に関する調査研究	平成21年8月10日～ 平成22年3月31日
合計			2件	7,979,518			

(単位:円)

H22	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	3,000,000	株式会社ファンケル	慢性炎症反応が行動に及ぼす影 響の解明と改善方向の検索に関 する研究	平成22年5月6日～ 平成23年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	7,993,400	文部科学省	看護系大学におけるモデル・コアカ リキュラム導入に関する調査研究	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
合計			件	10,993,400			

(単位:円)

H23	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	5,500,000	高知県	県産未利用有用植物の活用に向 けた農商工医連携基盤の構築と 事業化モデル	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
合計			件	5,500,000			

(単位:円)

H24	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	4,419,807	高知県	県産未利用有用植物の活用に向 けた農商工医連携基盤の構築と 事業化モデル	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
合計			件	4,419,807			

## (6) 受託事業費受入状況

(単位:円)

H24	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,590,225	社団法人 吾川郡医師会	平成24年度退院移行支援 コンサルテーション業務	平成24年4月2日～ 平成25年3月31日
2	看護学部	教授	長戸 和子	697,000	高知県	看護教員継続研修委託業務	平成24年7月6日～ 平成25年1月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	3,875,000	高知県	平成24年度高知県介護職員 喀痰吸引等研修	平成24年8月8日～ 平成25年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	1,190,000	高知県	平成24年度地域医療(多職種連 携)フォーラム開催委託業務	平成24年7月31日～ 平成25年3月31日
合計			4件	7,352,225			

## (7) その他受入状況

(単位:円)

H24	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	438,370	公益財団法人交通 エコロジー・モビリティ 財団	多文化共生社会の災害情報に対 するバリアフリーモデルの構築	平成24年7月10日～ 平成25年3月31日
合計			件	438,270			

## 6 学長特別粋助成事業の状況

## 【学長特別粋助成事業実績（平成24年度）】

(単位：千円)

	事業内容	助成費	備考
災害看護グローバル養成プログラム事業	プログラム管理センター運用経費	1,630	
小計		1,630	
入試管理システム	ソフトウェア（入試管理システム）	2,047	
	備品費（デスクトップパソコン）	128	
小計		2,175	
学生支援	業務委託費（学生生活及びニーズ調査）	786	
大学広報	印刷製本費（大学広報パンフレット作成）	504	
災害プロジェクト	旅費（公立大学学長会議特別シンポジウム「被災地支援や地域防災に果たす大学と学生の役割」への学生参加）	118	
国際交流	交際費（安徽省からの表敬訪問に伴う記念品）	10	
合計		5,223	